

**「令和6年度南陽市自分ごと化会議」からの  
少子化時代の子どもたちの望ましい中学校  
の在り方についての5つの提案  
～これからの南陽市の中学校を考える～**

**2025年1月11日**

**「南陽市自分ごと化会議」委員一同**

## < 目 次 >

1 「南陽市自分ごと化会議」の概要.....	1
2 「令和6年度南陽市自分ごと化会議」からの提案.....	3
3 付録：アンケート結果.....	16
南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果.....	16
南陽市自分ごと化会議第2回参加者アンケート結果.....	19
南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果.....	22
南陽市自分ごと化会議第4回参加者アンケート結果.....	24

## はじめに

無作為に選ばれた私たち委員は2024年9月から11月まで4回にわたって、少子化時代の子どもたちの望ましい中学校の在り方について議論を重ね、最終的には5つの提案にまとめました。

日本全国で進む少子化は、南陽市も例外ではなく、平成20年に268人だった出生数が、令和5年には140人に減少しています。中学生の数も、10年後には3割減少することが予測されています。この予測では、現在、市内にある3つの中学校は、生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することで資質や能力を伸ばしていくことができるとされる適正規模のクラス数を下回ることとなります。

適正規模に満たない小規模学校には一人一人にきめ細かな指導ができる等のメリットはありますが、クラス替えや十分な教員の配置といったことができなくなるといふこと、それを避けるためには中学校の統廃合の検討が必要となることを知りました。

そう遠くない未来にやってくる南陽市の中学校の未来について考え、あるべき姿を話し合った結果、南陽市民であるということ以外の共通点を持たなかった私たちに「将来どこにいても故郷を自慢できるような中学校生活を送ってもらいたい」という共通する思いが生まれました。この思いを叶えるため、私たち一人一人が、自分の考えを語り、幅広く議論しました。

部活動や他のことでも好きなことができ、先生や保護者、地域の大人たちが一人一人と向き合うことができる環境を作っていきたい、学びの質を維持していきたい、そのために、個人、地域、行政がそれぞれに何ができるかという視点で具体的なアイデアを出し合った結果、この提案書ができあがりしました。

今回の自分ごと化会議では、現役の高校生やまだ子供や孫が小さい人、自分が南陽市で育ってきた人など、色々な背景又は様々な背景を持った人が少子化時代の子どもたちの望ましい中学校の在り方という共通のテーマに「自分ごと」として向き合いました。

この提案を市としての考えに活かしていただくことを強く望むとともに、今まで以上に行政も私たち市民も一緒になって活発な意見交換が行われ、その場での意見が今後の南陽市のために活かされることを期待します。

令和7年1月

南陽市自分ごと化会議委員 一同

## 1 「南陽市自分ごと化会議」の概要

### (1) 名称

「南陽市自分ごと化会議」

### (2) 委員の選出

住民基本台帳から無作為に抽出し、 委員参加の案内を送付した数	1000 名
応募（参加）した委員 （応募率）	23 名 (2.3%)

### (3) 委員名（50 音順）


### (4) コーディネーター

石井 聡 （逗子市福祉部長）

(5) テーマ及び各回の議論

- ・テーマ：「少子化時代の子どもたちの望ましい中学校の在り方」
- ・各回の議論

(ア) 第1回会議：2024年9月7日（土）

- ・自分ごと化会議の概要説明（構想日本）
- ・テーマについての現状と課題の説明（市）
- ・委員の自己紹介 など

(イ) 第2回会議：2024年10月6日（日）

- ・「南陽市の教育の現状」  
「10年後の南陽市の中学校の在り方」などについて議論
- ・改善提案シートの記入（ほか）

(ウ) 第3回会議：2024年11月2日（土）

- ・ナビゲーターの参加  
東京みらい中学校校長 文教大学客員教授 定野 司
- ・「適正規模校、小規模校のメリット・デメリット」などについて議論
- ・改善提案シートの記入（ほか）

(エ) 第4回会議：2024年11月30日（土）

- ・提案書（案）をもとに修正点について議論
- ・意見提出シートの記入（ほか）

※各回の議事録は南陽市 HP に掲載されております

## 2 「令和6年度南陽市自分ごと化会議」からの提案

以下の提案は、「少子化時代の子どもたちの望ましい中学校」というテーマに関して、私たち会議参加者が4回にわたって議論してきたことや各回で記載した「改善提案シート」の内容を中心にまとめたものです。

提案

1. 故郷を誇りに思える心が豊かに育つ教育環境をつくる

提案

2. 多様な選択肢、経験、出会いが提供される教育環境をつくる

提案

3. 1人1人と向き合い安心できる教育環境をつくる

提案

4. 充実した学びが提供できる教育環境をつくる

提案

5. 中学校の魅力をまちの魅力につなげる

## 1. 故郷を誇りに思える心が豊かに育つ教育環境をつくる

南陽市では、地域がもつ教育機能を連携・運動・一体化させた「地域総合型教育」を推進しています。幼保小中一貫教育を取り入れ、体験活動など「本物に触れる機会」を大切にする、地域に根ざした教育を行っています。

地元に残っていても、離れていたとしても、故郷である南陽市のことを思うことができるような心豊かな人柄が育まれる教育環境づくりに、市民総ぐるみで取り組んでいくことが求められます。

### 「提案1」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち 市民

- ① 小規模校の文化や特色を伝える工夫をしていく。
- ② 自分ごと化会議に参加する
- ③ 身も心も優しい人間の育成（学力、人間性、健康、体力のチャレンジ持続）
- ④ 大人が子供たちをあたたく見守り、次世代を育む
- ⑤ 南陽市の知らない事を調べる

#### 地域

- ① 地域住民に協力してもらう
- ② 子供たちの触れ合いや学校との連携と協力
- ③ 地域の行事への参加、手伝い
- ④ 地元の就職先をアピールする
- ⑤ 家庭内で自然に身につけていたしつけや知恵を学べる機会を提供する

#### 行政

- ① 企業見学や企業研修の機会を増やしてもらう
- ② 故郷教育の強化、推進
- ③ 行事カレンダーの作成、配布
- ④ 各省庁のデータで今の世の中の状態を教えていく

#### その他の

#### 主体

- ① 子供たちに関心を持ってもらう
- ② 農業、商業、保育等、研修授業の提供

«その他の意見»

- ・ 自分の地元で誇りや愛情を持つことが軸であれば、自ずと他のこともよく回るんじゃないかと思った。
- ・ 地方と都会の同世代の人が、お互いに自分の故郷のことをアピールし合えるようになることが、何より大切で、地元離れの対策になるかもしれない。
- ・ 地元愛を育て、地域の個性が分かることができる人になれるような進み方が出来ればと思った。
- ・ 将来自己紹介をする時に、自分はこんなことが学べる学校だったんだとか、こんないいところがあったと言える学校が良いと思う。
- ・ 小規模校でやっていたワラビ取り等の伝統行事や文化が、統廃合でなくなってしまふのは嫌だと思う。
- ・ 自分達の頃に比べて最近は精神も肉体も大人になっていると感じる。中学生の時から、将来生きていくのに必要な人を思いやる心をもっと教育していかないと間に合わなくなっているように思う。
- ・ 統合せず、若い世代や子供を増やすことで、地区内で切磋琢磨し、競争心を身に着け世間でも強く生きている人間性が育つと考えている。
- ・ 生徒主体で、学校活動を通して子供たちが夢や誇りを持てる環境をつくり、自分の街では中学生ががんばっていると紹介できるような街にしたい。
- ・ 学校が統合されたら、それぞれの地区の行事や文化に触れることができ、南陽市全体を知ることができるので、小さいときから広く見ることができ、南陽市ってどんなところってということが言えるようになると思う。

## 2. 多様な選択肢、経験、出会いが提供される学校をつくる

少子化が進み、生徒数が減少し、適正規模を保てなくなることにより、部活動が廃部になったり、各行事が縮小されたりするなど、多様な経験をする機会が減少していくことが考えられます。これは、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくことが難しくなることです。これらを解消するため、統廃合を含めた学校の配置の検討が必要です。行政や学校だけでなく、私たち市民や地域が、できることを考え、積極的に関わることで、中学生が多様な経験、機会、選択肢を得て、自信を持って社会に出ていくことができる環境を整えることが重要です。

### 「提案2」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち 市民

- ① 部活動の指導だけでなく、しっかりと話をする
- ② 入学説明会や部活の説明会などでスポーツや文化の説明と、学生時代、社会に出てからの経験談を語る機会を設ける
- ③ 会合、コミュニケーションへの参加
- ④ 経験や学んだことを提供する
- ⑤ これまでの人生で得た自分の経験を話す機会をもらう
- ⑥ 将来の夢を見つけるために地域全体で説明会などを行う
- ⑦ 地域で職場体験をして、夢を持ってもらう。

#### 地域

- ① 話にあった地域の仕事の説明
- ② 地域交流の促進、提言
- ③ 地域の対応できる人が部活動の顧問を担う
- ④ 部活動の顧問は希望性で時間外の賃金を支給する
- ⑤ 学びや現在仕事のプロや研究者等を登録しておく（ボランティア）
- ⑥ 駅などに進路等の説明のスペースを作成
- ⑦ 進路等に関する資料などを渡す
- ⑧ 地域の人が得意なことを子供たちに教えられるような仕組みを作る

- 
- ⑨ やりたいことを生徒中心で考えてもらい、地域で協力する

- 行政**
- ① 部活動に対する場所、資金面等のサポート、
  - ② 他の中学校との積極的な交流
  - ③ 学校の統合について推進する
  - ④ 部活動に関わる賃金の支給
  - ⑤ 指導者の人材の確保
  - ⑥ 指導者の教育
  - ⑦ 多様な進路に関する情報の提供
  - ⑧ 一般の人と学校の橋渡しをする
  - ⑨ 選択の幅を広げられるような取り組み
  - ⑩ 社会を知る機会をつくる
  - ⑪ 進路の説明会などへの参加
  - ⑫ プロの職業人への指導教育依頼
  - ⑬ 安心して部活動が選択でき、活動維持できるだけの交通手段の確保
  - ⑭ 教育委員会、校長、地区委員等の新しい企画を担当する責任者を設定する

- その他の主体**
- ① SNS 発信
  - ② 有志による部活動の指導

---

《その他の意見》

- ・ 自分の子供が小学生の頃、学年の縦割りで行事をして、上級生と下級生が関係性を作っていた。やっぱりそういう関係が大切だと思う。
- ・ クラスが少ない、先生方が少ないということは、中学生時代に自分と関わってくれる大人が少ないということ。色々な大人がいるということ学ぶ機会が減ってしまう。子どもにはいろんな人と関わってほしいなと思う。
- ・ 自分は、経験にないことがたくさん起こるとそれだけでとても成長できた。
- ・ 小さいうちに、早い段階でそういういろんな人と関われる場とか、いろんなタイプの人と関わったり、いろんなことを経験できる場があることが大事なのかなと思う。

- 小学1年生の子供を持つ娘が、早く統合して、大きくなった学校でいろんな選択肢をいっぱい選べる方が子供にとってはいいんじゃないかと言っていた。
- 伸びる子供たちだけに焦点を合わせるのではなく、困っている子供も同時進行でフォローしながら自分のやりたいことをどんどん世界に出ていくような子供たちの才能を伸ばしてあげたい。
- どんどん技術者が足りなくなっていると聞く。工業高校や技術系の職業に興味を持つきっかけを持てる場がたくさんあることが大事なのかなと思う。
- 以前、住んでいた地域では、外国人が多く、子どもたちに偏見がなく、不登校の子供も受け入れてくれた。南陽市の子供たちもそうであつたらうれしい。
- 今の時代の価値観と自分の価値観がかなり離れているかもしれないが、自分に教えられることは教えていきたい。
- 自分が子供の時は保護者であっても行事のときにしか学校に来なかったが、どんどん地域のネットワークで得意なことがある方にきてもらって、学校と地域の人をうまく繋いでいくということが、今よりも容易に出来たらいいなと思う。
- 子どもたちにとっては、同じ部活を選んだということで友達関係でも重要だと思うので、部活動を選べる選択肢が保証されている学校だといいなと感じる。

### 3. 一人一人と向き合い安心できる教育環境をつくる

子供たちは一人一人がそれぞれに違った性格、考え、悩みを持っています。小学校から中学校、中学校から高校に上がるタイミングでギャップを感じることもあります。こういった1人1人にしっかりと向き合い、対応することができる環境を整えることは、小規模校においても、統廃合を含めた学校の配置を検討した先にある適正規模校においても変わらず大切なことです。スクールカウンセラー等の配置に加え、先生や保護者、地域の大人が子供たちを見守り、支えることができる環境、居場所をみんなで協力して創り上げていくことが求められます。

#### 「提案3」の実現に向けて、それぞれが行うこと

##### 私たち 市民

- ① 仕事でも、様々な相談に対して学校と家庭それぞれの課題を繋いでいきたい
- ② 地域との交流で他の子の話を聞く
- ③ あいさつ、声がけをする
- ④ 遠慮なく話し合いをする
- ⑤ 行政で働くものとして、それぞれの個を大切につないでいく機関の連携
- ⑥ 中学校の実情を把握する
- ⑦ 地域の学校に関わる

##### 地域

- ① ボランティアとして学校と繋がれる方への呼びかけ
- ② 学校や公園の安全な環境づくり
- ③ イベントや行事を開催し、学校等との協議を計る
- ④ 対話のできる環境をつくる
- ⑤ 通学手段への協力、学力、体力UPへの協力
- ⑥ 子育て世代のサポート体制やつながりをつくる
- ⑦ 学校以外の子供の活躍の場をつくる
- ⑧ 地域の先生による学校のサポート

## 行政

- ① 教員（担任）負担増ではなく対応できる職員の配置を行う
- ② 危険箇所 ハザードマップの作成
- ③ 理念、方向性を打ち出し環境作り
- ④ 具体的な施策を示し、結果を検証する
- ⑤ 行政は形を作り見守る
- ⑥ 子ども家庭センターによる切れ目ない支援を深めていく
- ⑦ 教育委員会や学校につなぐ
- ⑧ 個人、地域への要請、情報の発信
- ⑨ 学校への専門指導員の配置
- ⑩ 赤ちゃん訪問など長く子育てを見守る行政による素地を作り関わる
- ⑪ 教育課程、学び方の見直し
- ⑫ 心理学の簡単な研修を実施（いじめを行ってしまう人の心境など）

## その他の 主体

- ① ポイ捨て防止、不法投棄の防止の呼びかけ
- ② 拾ったごみを入れられるように街の色々なところにゴミ箱を設置する
- ③ 子ども頃からごみを拾う気持ちを作る。
- ④ 先生、スクールカウンセラーなどの質の向上に努める
- ⑤ 受け皿、相談の場として学校以外の子供の居場所
- ⑥ 子育て世代の居場所づくり

### «その他の意見»

- ・ 不登校はもう珍しいことではなく、不登校かどうかはそんなに重要じゃないのかなと思う。学校に行かない選択も含めて、それも多様性の一つだと思う。
- ・ 3校あるうちの1校は、少人数の学校は和気あいあいとできる校風で、別の中学校は多いところは、しっかりと質が保たれた校風という風に分けて、選択できるようになれば、行きたい学校を選ぶことができるということもできるのではないかな。

- ・ 行事や合唱コンクールでうまくいかなかった時に友達との関わり方を考えたり、怒られた時の対処法を学んだことで大人になってからもしなやかに生きられるようになった。失敗できる場としての中学校が大事だなと思っている。
- ・ 子供たちだけでなく、子育て世代の同級生が、どこかでつまずいてしまっている人もいるので、子育てしている人をロングスパンで見守る仕組みが必要だなと思った。
- ・ 地域の不登校児のケアをしている方から、生徒が高校卒業資格を取りたいといったタイミングで、カタカナや漢字が書けないという子がいるのに気付いたという話を聞き、そういった最低限の教育を受けられる場所を作る必要性があると思った。
- ・ 少しでも学校で過ごせる時間を増やせるような関わり方をしてほしい。
- ・ 地域の人が話し相手になったり、守ってくれる人がいることが大事。
- ・ 子供に一番近い親や教師、同級生がどう向きあうかが大事。
- ・ 子ども、教師、親、人を育てる南陽市にしていきたい
- ・ なかなか学校にいけない家から出られない子供がギターに興味があって、そこに誘った結果、交流ができたということがあった。クラスの枠を外した時に学校に行きやすくて、一人一人と向き合うことができるのかなと思う。

## 4. 充実した学びが提供できる教育環境をつくる

少子化が進み生徒数が減少すると、それに合わせて配置される教員の数も少なくなり、今までの学びの水準を維持することが難しくなっていきます。解決策としての統廃合も選択肢に入れるとともに、人材リソースが限られてゆく中で、行政や学校だけが大きな負担を負うのではなく、私たち地域住民や民間事業者が教育の充実のためにできることを進め、地域全体で学びの質を高めていくことが必要です。

### 「提案4」の実現に向けて、それぞれが行うこと

<b>私たち</b>	① 目的にあった学校を選ぶ
<b>市民</b>	② 行政への働きかけ
<b>地域</b>	① 教職員以外の支援、退職した教職員の活用 ② 遠くにも通学する手段、バスの運転など
<b>行政</b>	① 子供達の教育環境を整える（目的にあった学校） ② 段取りよく統合する
<b>その他の主体</b>	① 学習塾との連携 ② バスの手段、民間委託

#### «その他の意見»

- ・ 免許外で家庭科を教えている知り合いの先生が、専門外の家庭科は自分も学び直す必要があり、先生方の負担もものすごいと言っていた。
- ・ 先生としても、同じ教科を担当担当する先生が他にいるのであれば心強いと思った。
- ・ ある程度の人数がいて、先生もいてという学校の方が良いと思う。
- ・ 教員をしていて、最近の教育が過渡期にあると感じる。こういうふうな学びであるべきだということと、求められる学力が違うと感じる。

## 5. 中学校の魅力をまちの魅力につなげる

地域の子供たちが通う中学校の活性化は、地域自体の活性化につながります。郷土を愛し、心優しい人に育つ教育や、特色ある部活動、そしてそこで育った人たちの活躍が市民の喜びに繋がり、南陽市の魅力となるのです。また、例え廃校になった学校であっても、再利用の方法次第で地域の中で輝くことができます。少子化の時代に、魅力ある南陽市であり続け、その教育を南陽ブランドとして誇ることができれば、南陽市に関心を持つ人や、移り住む人も増えていくことでしょう。そのために、南陽市独自の特色や魅力を育て伝えていくことが求められます。

### 「提案5」の実現に向けて、それぞれが行うこと

#### 私たち

- ① 子どもたちの活動を見守る

#### 市民

- ② 学習や部活動に関わる

#### 地域

- ① 教職員以外の支援、退職した教職員の活用
- ② 遠くにも通学する手段、バスの運転など

#### 行政

- ① 廃校舎でイベントを行う
  - ミステリーツアー
  - 校外活動（サマーキャンプ等）での利用
  - 卒業生の思い出ツアー
- ② 廃校になった中学校の転用
  - 避難所・備蓄倉庫
  - みんなが集まれるカフェ
  - 冬も遊べる子供の遊技施設
- ③ 廃校舎の管理を徹底する
- ④ 楽しい場所をつくる
- ⑤ 地域と学校、生徒、教師が活発に交流する
- ⑥ 若者の興味あるようなイベント（B級グルメフェスタ、花公園を利用したウォーキング+クイズイベント等）を開催し、地域の活性化

と経済の活性化、人が集まる南陽市を目指す。

## その他の

### 主体

- ① 学習塾との連携
- ② バスの手段、民間委託
- ③ 若者の興味あるようなイベントを考える

#### 《その他の意見》

- ・ 南陽ブランドの1つとして、中学校があるべき。全国から注目されるきっかけの1つとして、「産業」だけでなく、「教育」があっても大きな目玉になると思う。
- ・ 少子化時代をポジティブに考えた場合、人が少ないからこそ団結することができる。より子どもたちに近い場で活動ができる。そうすると学校の活動や部活動に地域の繋がりが深くなって、生徒のやってみたいという気持ちが上がっているいろいろなチャレンジして部活動の質やレベルが向上していくと思う。全国大会で良い成績を残したりすると、子どもたちの学びが全国でPRされて、南陽市のPRに繋がれば、交流人口が増えたり、他の地域の人たちと切磋琢磨できたりするので、この辺の一連の流れが大切だと思っている。それが、郷土愛にもつながるし、町全体で子どもたちをバックアップしていくことにもつながっていくと思う。



### 3 付録：アンケート結果

#### 南陽市自分ごと化会議第1回参加者アンケート結果

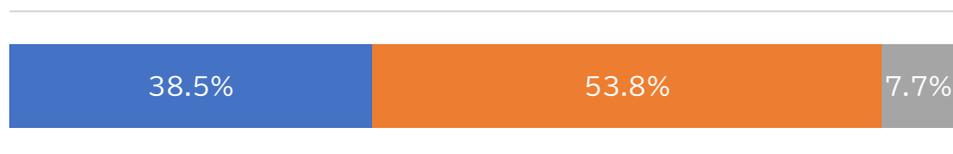
令和6年9月8日実施分

回答結果：13人

##### 1. 第1回の会議に参加してみていかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	5	7	1	0	0	0	13
割合	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

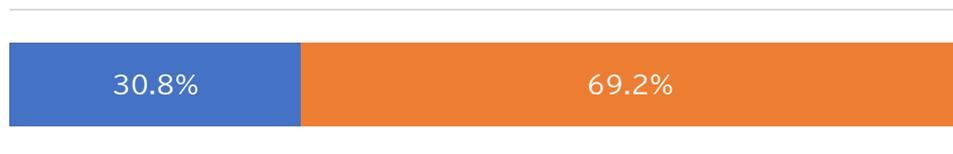
■とても良かった ■良かった ■あまり良くなかった



##### 2. 全体会議の時間は十分でしたか。

回答	長かった	ちょうどよかった	もっと話したかった	未回答	合計
人数	4	9	0	0	13
割合	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	100.0%

■長かった ■ちょうどよかった



### 3. 対話において安心して話せる雰囲気でしたか。

回答	大変そう 思う	まあそう 思う	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	未回答	合計
人数	1	10	1	0	1	13
割合	7.7%	76.9%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%

■ 大変そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ 未回答



### 4. 会議に参加しようと思った理由を教えてください。(自由記述)

- 色々考え方があったと思った
- 息子が2才で、中学校に進学するころには統合が考えられるから。
- 地域の方と学校の話をしてみたかった。
- 通知をいただいて参加してみようかなあと思いました。
- 軽い気持ちで出席致しました。
- 話をしていくうちに中々気持ちがワクワク?してきて参加してよかったと思いました。
- 孫と関わる事が多いので勉強させていただきたいです。
- 自分の地域の課題に対して自分が何をできるか考え、具体的な行動にうつすきっかけを得たかったため
- 子どもに関わる活動をしており、何か役に立てることはないか・・・と思い参加しました。
- 出生数の減少をひしひしと感じています。
- 子供が中学校に進学するにあたって、少しでも問題や現状を知りたいと思ったから。
- 自分の家庭に直結する内容の話だから
- 今の若い方々を見て、なにか力になれないかと思って
- ある映画をみて、身近なところで討議する重要性和意義を感じたから。
- 参加者の意見を聞きたい。自分の思いは何なのか、自分の中で確認できたらと・・・。
- 福祉の課題である丸ごと、我がことに関心があったため

### 5. 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)

- 1つのことについて他職種の方と議論する機会は初めてだったので大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 意見を言えず、次回からは言えるようにしたいです。
- さまざまな職・年齢・お考えがある中でしたので私自身の活動にも役立つかと思いました。
- 現在の中学校がどんなことをしているのかや、学校の状況がわかるといいと思う。
- 次回も参加できる時はどうぞよろしくお願いいたします。
- 皆、臆することなく話してくれる大変、会話が成り立つ場でした。
- 全員に意見を聞くのはいいと思います。もっとリラックスして臨みたいです。

## 南陽市自分ごと化会議第 2 回参加者アンケート結果

令和 6 年 10 月 6 日実施分

回答結果：12人

### 1. 第2回の会議に参加してみていかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	4	7	1	0	0	0	12
割合	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても良かった ■良かった ■どちらともいえない



### 2. 市職員の説明や質問に対する答えはわかりやすかったですか。

回答	とても分かりやすかった	分かりやすかった	どちらともいえない	分かりにくかった	とても分かりにくかった	未回答	合計
人数	5	7	0	0	0	0	12
割合	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった



### 3. コーディネーターの進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	とても分 かりやすか った	分かりや すかった	どちらと もいえな い	分かりに くかった	とても分か りにくかつ た	未回答	合計
人数	11	1	0	0	0	0	12
割合	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった



### 4. 第2回会議で新たな発見や気づきはありましたか。

- 改めて様々な方がメンバーなので、考え方も様々あり新たな学びがあった
- 教職員にとっても働きやすい職場(学校)づくりをしていくべきだと新たに思いました
- 前回までは、統合すると一人ひとりに寄り添うという面ではよくないと考えていたが、今回の話を聞き、よくないという考えは違うのかなと思った。多角的な見方をしていきたい。
- 自分の年代ではわからない事を家族で話しする時間が出来て子供がどう考えているか、孫がどんな事をしたいのか会話できて良い家族の時間を持つことが出来た
- 時代とともに中学生のあり方が変化していること
- いろいろな意見を聞いてよかった
- もっと若い方の意見が聞きたかったです
- 初めての参加で、様々な立場の方々からの話がとても新鮮でした。考え方を広げるきっかけになりました。その都度、行政側からの返答も分かりやすかったです。
- 可視化が必要だと感じた。
- 前回以上に話がより具体化(つながりが見えた)ような気がする。
- 委員の経験からの発言、意見、当然なことだが、うなずける
- 子供達の教育、学校のあり方について様々な意見があり、参考になりました。

### 5. 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)

- 本題に関してメリットデメリットをまとめていく必要性は確かに感じます
- 次回以降も参加できればよろしく願います。

- もう少し、時間をかけて、話し合いがしたい
- 参加者同士で議論できる場があっても良いと思います。グループワーク、報告とか

## 南陽市自分ごと化会議第3回参加者アンケート結果

令和6年11月2日実施分

回答結果：12人

### 1. 第3回の会議に参加してみても良かったか。

回答	とても良かった	良かった	どちらともいえない	良くなかった	まったく良くなかった	未回答	合計
人数	8	4	0	0	0	0	12
割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

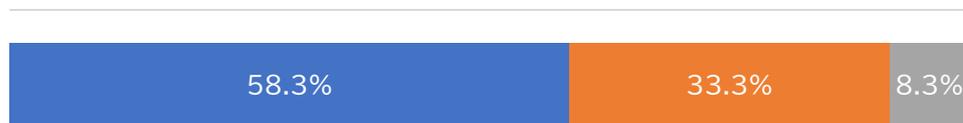
■とても良かった ■良かった



### 2. 市職員の説明や質問に対する答えはわかりやすかったですか。

回答	とても分かりやすかった	分かりやすかった	どちらともいえない	分かりにくかった	とても分かりにくかった	未回答	合計
人数	7	4	1	0	0	0	12
割合	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった ■どちらともいえない



### 3. コーディネーターの進行やまとめ方はわかりやすかったですか。

回答	とても 分かり やすか った	分かり やすか った	どちら もいえ ない	分か りに くか った	とても 分か りに くか った	未回答	合計
人数	8	3	1	0	0	0	12
割合	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても分かりやすかった ■分かりやすかった ■どちらともいえない



### 5. ナビゲーターの話を聞いて新たな発見や気づきがありましたか。

- 利益をうみながら運営していく所が良くわかった
- 待つことや思いやりを大切にしたいです。
- 適正配置・規模ということを具体的に考えたことがなかったので、メリット・デメリットと共に示してもらい、とてもわかりやすくてよかった。
- 時代が変わった若い人の意見が聞けて良かった
- 都市の中学校についての新たな気づき
- 小規模校のメリットデメリット
- 無理にまとめることもなく、意見を聞いてくれて中々よい
- 地域が違うため、その地域のあり方が分かった。
- 学校についてもとてもいい話だと思いました。
- 参加者の話から発見や気づきを引き出して下さり、分かりやすく会が進行していったと思います。
- 統合ありきの前提で資料がつくられており、メリット・デメリットの分量に公平性がないのが残念でした。しかし自分の気持ちと向き合う良い機会でした。
- 他自治体の取り組みについて分かりやすく知れた。
- また、話が前回よりも分かりやすく進んでいったのでよかったのかなと思う。
- 色々あった。

### 5. 次回以降の会議に向けての要望や今日の感想等がありましたらご記入ください。(自由記述)

- 運営ありがとうございました。
- やはり、統一化を目指すのか現状維持か分からなかった。

## 南陽市自分ごと化会議第4回参加者アンケート結果

令和6年11月30日実施分

回答結果：12人

### 1. 第4回会議に参加してみていかがでしたか。

回答	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	まったく良くなかった	どちらともいえない	合計
人数	7	5	0	0	0	12
比率	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても良かった ■良かった



### 2. 今回の南陽市自分ごと化会議全体を通じての満足度を教えてください。

回答	とても満足	まあまあ満足	やや不満	不満	どちらともいえない	合計
人数	7	5	0	0	0	12
比率	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■とても満足 ■まあまあ満足



### 理由

#### とても満足

- 幅広い皆さんの意見が聞けた
- 全体の話が聞けてよかった
- 自分の将来を見つめ直す機会となった。
- 様々な視点を学べた。
- この会に参加していなかったら南陽市を自分ごととして考える機会があっただろうか？と思います。

- これまで一度も考えつかなかった角度の意見も聞くことができ、本当に有意義な4回でした。ありがとうございました。

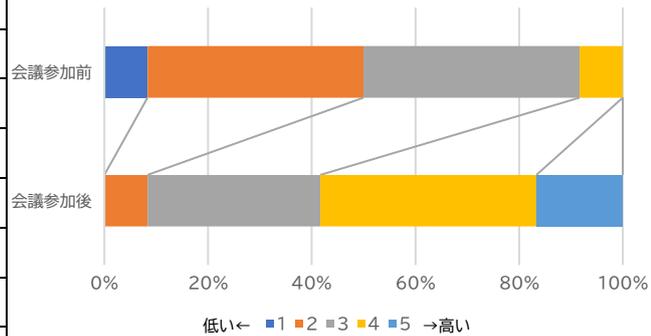
**まあまあ満足**

- 地域について自分ごと化して考える機会をいただけて大変ありがたかった。もう少し他の参加者と話し合う機会があると楽しく発見を出せたなと思った。
- 若い方の考えが知りたかった。
- 皆さんの意見、色々な意見があるなあと勉強になりました。
- 自分の意見が言えず、自分に不満ですが、参加できてよかったです。
- さまざまな方のご意見、思いをきくことができ勉強になった
- 事前に議題を教えていただきたかった。(中学校統合の件)

3. 南陽市自分ごと化会議に参加した前後で、あなたの税金や行政・議会への関心や地域づくりに関わる頻度などに変化はありましたか。

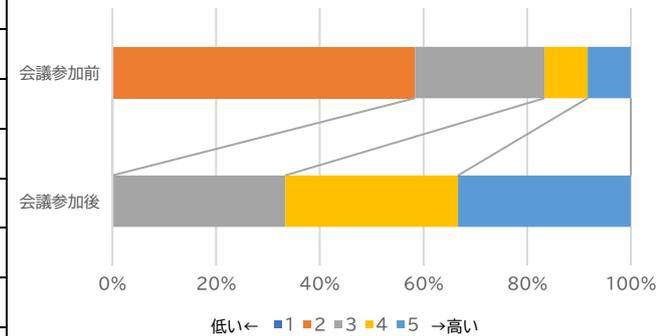
**税金の使い方への関心**

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	1	8.3%	0	0.0%
2	5	41.7%	1	8.3%
3	5	41.7%	4	33.3%
4	1	8.3%	5	41.7%
5 高い	0	0.0%	2	16.7%
合計	12	100.0%	12	100.0%



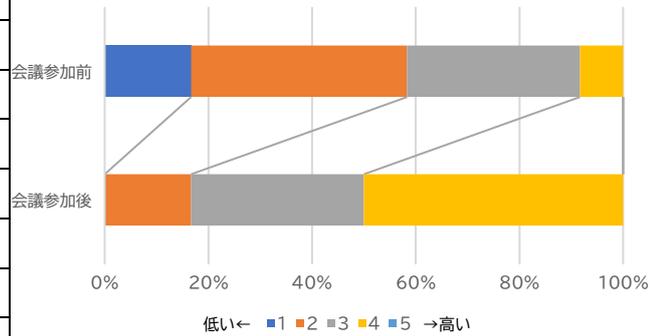
**行政や議会の情報への関心度(広報誌・HP や議会の傍聴等)**

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	0	0.0%	0	0.0%
2	7	58.3%	0	0.0%
3	3	25.0%	4	33.3%
4	1	8.3%	4	33.3%
5 高い	1	8.3%	4	33.3%
合計	12	100.0%	12	100.0%



自治会、ボランティア等地域づくりに関わる集まりに参加する頻度

回答	会議参加前		会議参加後	
	人数	比率	人数	比率
1 低い	2	16.7%	0	0.0%
2	5	41.7%	2	16.7%
3	4	33.3%	4	33.3%
4	1	8.3%	6	50.0%
5 高い	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	12	100.0%

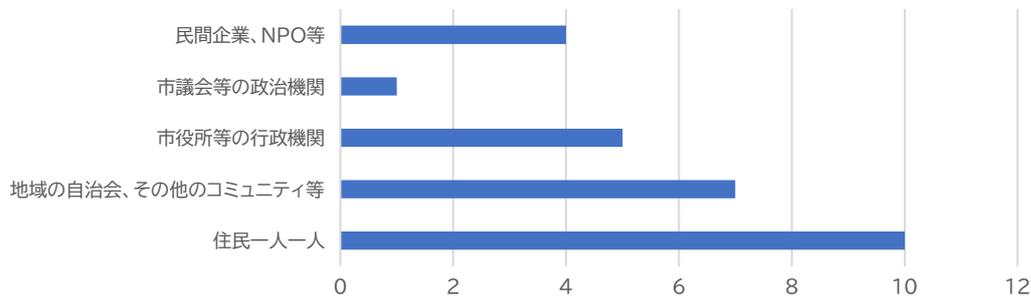


4. 質問3以外に、自分ごと化会議に参加して意識や行動の変化があった事などがあれば教えてください。

- 地域協力が絶対的に必要だという事が分かった
- 自分の地域と向き合って、地元への愛着が強いこと、誇りに思っていることに気づかされました。地域をよりよくしたいという気持ちが強くなりました。
- 他人事から自分ごとに変化しました。
- 南陽市民として、自分も何かできたらいいなと思っています。
- 自然と登下校中の中学生を見守るようになった(目が行くようになった)。

5. 南陽市をより良くするために特に重要と思う主体をお答えください。(複数回答可)

回答	住民一人一人	地域の自治会、 その他のコミュニティ等	市役所等の行政機関	市議会等の政治機関	民間企業、 NPO等
人数	10	7	5	1	4



6. 今後とも引き続き市政運営にご協力いただけますと幸いです。現在、市の取組や町づくりに関する活動など興味のある分野はありますか。

回答	興味のある分野がある	特定の分野はないが、市政全般に興味がある	特に興味のある分野はない	未回答	合計
人数	4	5	1	2	12
比率	33.3%	41.7%	8.3%	16.7%	100.0%

■興味のある分野がある ■特定の分野はないが、市政全般に興味がある ■特に興味のある分野はない ■未回答



7. 今後、南陽市自分ごと化会議のように、住民同士で町の重要課題について議論・意見交換し、町へ改善提案できる場があれば参加したいと思いますか。

回答	思う	思わない	どちらともいえない	未回答	合計
人数	8	0	3	1	12
比率	66.7%	0.0%	25.0%	8.3%	100.0%

■思う ■どちらともいえない ■未回答



8. 自分ごと化会議に参加したことで知識が深まった、勉強になったと思いますか。

回答	思う	思わない	どちらともいえない	未回答	合計
人数	11	0	0	1	12
比率	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%

■思う ■未回答



9. その他、全体を通じた感想やコメントを自由にご記入ください。

- 出席して良かったと思う
- 勉強になることが多く、今後の私自身の活動にも役立てたいと思った。
- 少子化もあり、子供たちの行く末を考え、世間に出て負けない力強い大人に育ってほしいと強く思った。